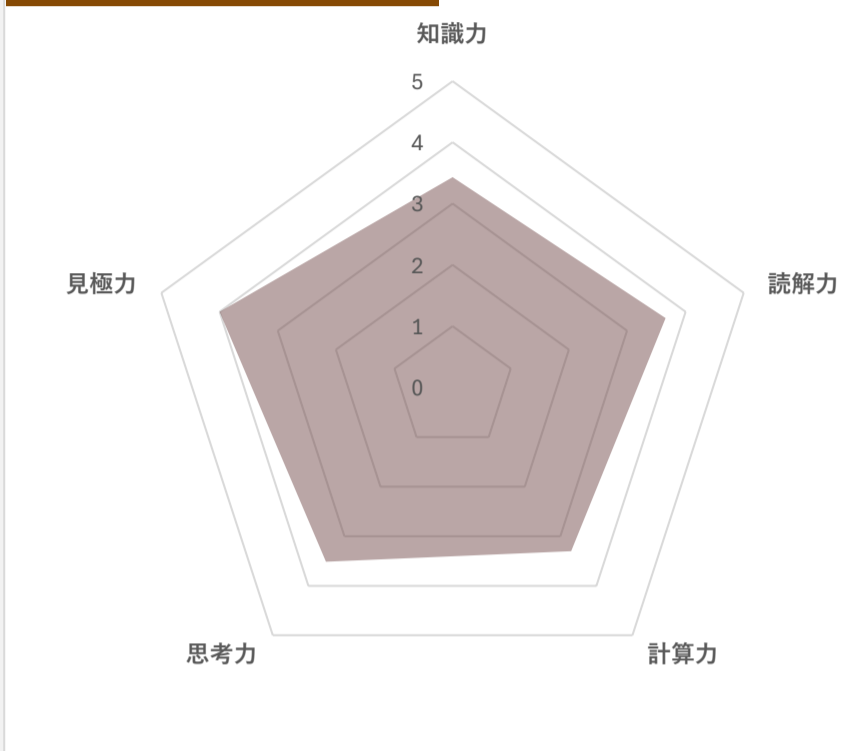


総合分析

試験区分	一般（前期）
------	--------

制限時間	60分（理科2科120分）	大問数	全4問
------	---------------	-----	-----

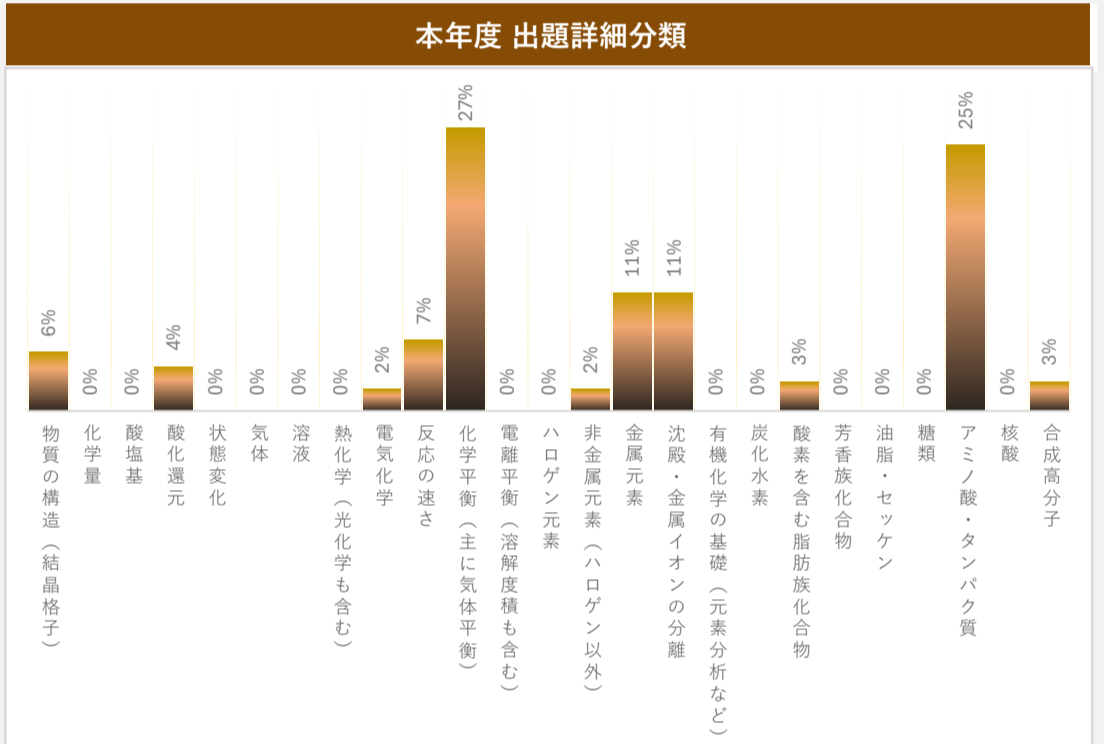
合格に要する能力（5段階）



出題分野	
理論	45%
無機	24%
有機	31%

本年度出題テーマ一覧	
第1問	鏡
第2問	平衡
第3問	金属
第4問	グルタチオン

本年度 解答形式
答えのみ記述 100%



合格に要する能力（5段階）		
知識力	3.2	物質，反応，解法の知識
読解力	3.5	問題文から必要な情報を抽出できるか
計算力	3.1	手際よく正確に計算できるか
思考力	3.3	基礎知識や問題文から推測する力
見極力	3.8	解きやすい問題を選択する力

特殊問題の有無	数値計算あり	グラフあり	正誤問題あり	理由記述なし	図表あり
---------	--------	-------	--------	--------	------

特記事項	特になし
------	------

総合評価

難度	3.3	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	67%
分量	67分	完答に要する時間（制限時間は60分）	やや多い	標準	

入試の特徴と対策	強い特徴や偏りが無いバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校化学の学習でよい。
入試から見る大学が求める学生像	題材は少し発展的ではあるが、出題されている問題の内容はオーソドックスであるということを見抜くことができる学生が求められている。今年でいえばグルタチオン自体は仮に知らなくともアミノ酸・ペプチドに関する知識があれば解けた内容である。有機・高分子分野だけではなく、無機分野からの出題も多くバランスよく学習できたかが鍵になる。